

昭和 SP レコードで迎れば

フクチヤンと兵隊

S P レコード収集家 ■ 城内 實

(一)

漫画家の横山隆一氏が十一月八日逝去された。九十二歳であった。実を言うと筆者は「フクチヤンと兵隊」というタイトルで今月号の原稿を書く準備をしていた。訃報は奇しくもその矢先に届いた。

横山隆一は、昭和十一年一月朝日新聞に「江戸っ子健ちゃん」という四コマ漫画を連載した。その漫画の中の脇役で大学帽をかぶったキャラクターのフクチヤンが読者の人気を得たので、同年十月にタイトルを「養子のフクチヤン」に変えて連載したところ、さらにヒットした。戦後「フクちやん」は昭和三十一年から昭和四十六年まで毎日新聞に連載され、その数は五

千五百回を越えた。

(二)

フクチヤンとSPレコードのかわりでいうと、昭和十三年七月に日本コロムビアから発売された「フクチヤン部隊の歌」、「フクチヤン部隊行進曲」のレコードが最初ではないかと思う。

朝日新聞が一般公募した歌詩には当時の子供達の屈託のない「戦争ゴッコ」の様子が描かれており、大変興味深い。

昭和十八年十一月に我が国で大東亜会議が開催されると、これを受け、昭和十九年元旦と翌二日の二回に分けて「フクチヤンの大東亜コドモカイギ」が掲載された。フクチヤンがビルマやタイからきた友達とお正月のお雑煮と一緒に食べるというほほえましい内容であった。

以下で歌詩を紹介する。

(ビルマの巻)

「兵隊さん 兵隊さんあれなあに」「あれは鐘の音 タぐれの

金のパゴタよ 鐘の音よ」

「兵隊さん おがみましよう」「兵隊さん おがみましよう」

「そうだフクチヤンビルマからお国を遙かに拝みましよう」

(タイの巻)

「兵隊さん 兵隊さんあれなあに」「あれはユワナリユワチヨンの若い元気な 行進だ」

「兵隊さん チヤイヨー」

「兵隊さん チヤイヨー」

大東亜戦争勃発後、横山隆一は、詩人の大木惇夫らと共に、

同様に日本コロムビア改めニッヂから、「フクチヤン」という曲が発売される。作詩は横山隆一、作曲は古賀政男となっている。

歌詩は、フクちやんがビルマ、タイ、ジャワ、フィリピンといった南方の皇軍将兵を訪ねてまわるというストーリーになつており、日本コロムビアの看板歌手伊藤久男が兵隊さん役、童謡歌手の高橋祐子がフクチヤン役をつとめている。

ヤンと兵隊」という曲が発売される。作詩は横山隆一、作曲は古賀政男となつていて、これはフクチヤンがビルマ、タイ、ジャワ、フィリピンといった南方の皇軍将兵を訪ねてまわるというストーリーになつており、日本コロムビアの看板歌手伊藤久男が兵隊さん役、童謡歌手の高橋祐子がフクチヤン役をつとめている。

